

2023 年度第 2 回須坂市高齢者施策推進協議会 要約議事録

1. 会議名	2023 年度第 2 回須坂市高齢者施策推進協議会
2. 日 時	2023 年 10 月 25 日（水）13：30～15：00
3. 場 所	須坂市役所東庁舎 3 階第 4 委員会室
4. 出席者	【委員】14 名 ※欠席 5 名：永井委員、富澤委員、神林委員、竹前委員、松本委員 新村会長、佐藤副会長、下鳥委員、青木委員、金子委員、立花委員、 青木委員、渡辺委員、和久井委員、北澤委員、山浦委員、磯野委員、 酒井委員、古川委員 【事務局】 ※欠席 1 名：湯本主査 牧健康福祉部長、荻原高齢者福祉課長、滝澤高齢者福祉係長、 福崎介護保険係長、宮川地域支援係長、中村介護予防係長

<議事概要>

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

（1）介護サービス施設等整備意向調査結果及び次期計画の施設整備案について

2023 年 7～8 月に市内外の介護事業所に向けて実施した介護サービス施設等整備意向調査結果を報告。須坂市は 2020 年の国勢調査において県内で 2 番目に高齢者のみ世帯の割合が高く、今後も増加が見込まれ、3 年後の 2026 年度には、認定者は 40 人増加、17 年後の 2040 年度には、認定者は 418 人増加する見込みである。また、団塊世代が 80 歳以上になる 2030 年頃までは、須坂市の後期高齢者が増える見込みとなっている。そこからのサービス需要予想も踏まえ、次期計画では、入所・入居系サービスとして「①介護医療院」を 1 カ所、「②認知症高齢者グループホーム」を 2 ユニット（18 名分）増設、「③特定有料老人ホーム」の定員増員についての整備を見込む。

（2）事業計画素案について

計画全体の前半部分である第 1 章から第 3 章について説明。基本理念の実現のための 4 つの目標を定め、それを達成するために各項目を設けている。現在具体的な施策の中身の検討を行っており、具体的な内容は次回の会議でお示しする。またそれ以降の内容も現在検討中や算定中であり、説明や報告は次回になる。

(3) 介護サービス見込み量の推計と保険料設定の流れについて

現計画の保険料と、次期保険料設定までの流れを説明。現在算出中であり、次回会議では金額のお示しができると考えている。

(4) その他

特になし

4. その他

◆「介護予防・生活支援サービス事業に係るサービス費用の見直しについて」説明

◆事務局より今後の須坂市高齢者施策推進協議会のスケジュールについて説明

第3回協議会は 12月20日(水) 15時から17時を予定(会場は第4委員会室)
後日、改めて通知送付する。

5. 閉 会

＜主な意見（１）介護サービス施設等整備意向調査結果及び次期計画の施設整備案について＞

委員：施設待機者が減っているということだが、この中には自然減になっているものも含まれると思うが、効果検証はいかがか。

事務局：もちろん自然減の方もいるが、有料老人ホーム等も出来たことで、そちらへ待機者であった方がかなりの数、入居されている現状もある。

委員：ケアマネとして体感的なところだが、特養の入所待ちの方は減ってきているということはあり、確かに、ここのところ、入所待ちがとても短くなってきて入りやすくなっているというのは感じる。次期計画にどのように反映すればよいかわからないが、地域密着になってくるとユニット型で結構な金額がかかってくるというところで、そこに申込みも出来ないけれど、特養に入りたいという人は、入所に困難をきたしているという印象はある。

事務局：地域密着型ユニットなので、利用料（居住費分）が高くなってしまうというところは思っているところ。これについてもいろいろ検討はしていかななくてはならないため、委員の皆様からのご意見をいただきたい。

＜主な意見（２）事業計画素案について＞

委員：アンケートは、全国共通の内容なのか、それとも市独自のものか。

事務局：長野県で決めた設問部分と、あと市独自の部分をつけてアンケートを実施した。

委員：基本目標１の「健康寿命の延伸に向けた健康と生きがいがづくり」について、例えば要介護になった平均年齢がどういうふうに変わっていけば、健康寿命が延伸したのかというのが分かるようなものが一つの指標になるかと思いますが、それに関してはどうですか

事務局：市の総合計画でも、健康寿命が指標の一つとなっているため、活用を考えていきたい。

＜主な意見（３）介護サービス見込み量の推計と保険料設定の流れについて＞

委員：数字の関係が多く、いろいろと作業が大変かと思うがよろしく願いたい。

事務局：了